平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名　株式会社 アイビー化粧品　　上場取引所　大
コード番号　4918　　URL　http://www.ivy.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）白銀　浩二
問合せ先責任者（役職名）執行役員　経営管理室室長　（氏名）中山　聖仁　TEL 03-6880-1201
四半期報告書提出予定日　平成24年8月7日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	506	△4.9	△430	—	△432	—	△274	—
24年3月期第1四半期	532	△19.6	△419	—	△420	—	△265	—

（注）包括利益　25年3月期第1四半期　△275百万円　（—%）　24年3月期第1四半期　△265百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△12.70	—
24年3月期第1四半期	△12.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,793	2,339	48.8
24年3月期	5,657	2,831	50.1

（参考）自己資本　25年3月期第1四半期　2,339百万円　24年3月期　2,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—				
25年3月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想（平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,632 ～2,700	0.0 ～2.6	300 ～360	△9.9 ～8.1	300 ～360	△9.1 ～9.0	150 ～180	△8.8 ～9.5	6.93 ～8.32
通期	5,220 ～5,700	0.1 ～9.3	520 ～640	9.7 ～35.0	520 ～640	1.7 ～25.2	250 ～320	13.2 ～44.9	11.55 ～14.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	25,520,000 株	24年3月期	25,520,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,883,331 株	24年3月期	3,882,931 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	21,636,869 株	24年3月期1Q	21,638,509 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

平成24年8月2日付で、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の「独立監査人の四半期レビュー報告書」を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機等による金融資本市場の変動や、海外景気の下振れ等の影響を受け、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景にした生産、輸出、設備投資、個人消費の緩やかな持ち直し傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、前年度より継続展開しております「アイビーファン10万人づくり」に向け、お客様との出会いを大切に、アイビーニュース等の情報ツールや各種販促ツールを活用し、お客様へのフォローやサービスを徹底しながら、新規獲得やビューティマネージャー及び営業所増設活動を推進してまいりました。同時に、販売組織やお客様に当社の考え方への理解を深め、美容知識・技術を高めていただくために、SA研修や美容教室を積極的に展開してまいりました。これらの展開と販売システム改訂により、新規ビューティマネージャーは、前年同四半期比47.5％増となりました。

また、平成24年５月には、アクティブな毎日を応援する健康食品「グルコサミン ゼリー」を、６月には、マッサージで血行を促し、キメの整った健やかな肌を目指す「マッサージ クリーム Ｄ＆Ｎ」、マイルドな使用感のふきとり用化粧水「スキン フレッシュナー」、うるおいを与えて、透明感のあるみずみずしい肌を目指す集中保湿パック「モイスト シート」の３品を、それぞれ新発売し、顧客満足向上に努めてまいりました。

当第１四半期連結累計期間の売上高は、一部新製品の発売効果もあり、スキンケアと美容補助商品で前年同四半期比増となりましたが、その他の品目が前年同四半期を下回って推移しました。また物流体制の見直しにより、月次受注期間の短縮による売上計上額への影響もあり、売上高は減収となりました。一方、前期に引き続き売上原価の低減に努めましたが、売上総利益も減少となりました。

損益面におきましては、減収の影響が大きく、営業損益、経常損益、四半期純損益とも損失幅が前年同四半期比拡大しました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高506,386千円（前年同四半期比4.9％減）、営業損失430,224千円（前年同四半期の営業損失419,638千円）、経常損失432,067千円（前年同四半期の経常損失420,743千円）、四半期純損失274,856千円（前年同四半期の純損失265,432千円）となりました。

当社グループでは、主として第２四半期連結会計期間及び第４四半期連結会計期間に集中して売上高が発生するため、通常、第１四半期連結会計期間及び第３四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく低くなっております。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、消費低迷と競争激化の影響により、厳しい環境が続くと見込んでおります。そのような状況も鑑み、引き続きグループ全体で販売費及び一般管理費の節減に努め、経営努力を行っていきます。一方、第３四半期に発売する新製品の前評判が好評なことから、平成24年５月14日に公表しました業績予想を達成できると見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ206千円減少しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,622,870	1,409,155
受取手形及び売掛金	1,293,923	299,838
商品及び製品	381,494	501,428
仕掛品	14,004	21,744
原材料及び貯蔵品	164,404	180,066
その他	162,965	355,291
貸倒引当金	△22,744	△9,826
流動資産合計	3,616,918	2,757,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	468,733	466,343
機械装置及び運搬具（純額）	52,998	50,218
土地	521,190	521,190
その他（純額）	31,091	41,223
有形固定資産合計	1,074,013	1,078,974
無形固定資産	51,281	48,376
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	279,032	277,818
差入保証金	401,721	392,574
その他	268,523	281,743
貸倒引当金	△44,772	△53,025
投資その他の資産合計	904,504	899,110
固定資産合計	2,029,800	2,026,461
繰延資産		
社債発行費	10,368	9,262
繰延資産合計	10,368	9,262
資産合計	5,657,086	4,793,423

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,014	391,498
短期借入金	800,000	800,000
1年内償還予定の社債	180,000	165,000
未払法人税等	155,339	230
賞与引当金	114,972	51,141
ポイント引当金	12	20
その他	388,529	313,348
流動負債合計	2,062,868	1,721,240
固定負債		
社債	640,000	610,000
退職給付引当金	88,831	88,658
その他	33,963	33,729
固定負債合計	762,794	732,387
負債合計	2,825,662	2,453,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,073,044	2,581,817
自己株式	△1,269,886	△1,269,949
株主資本合計	2,951,158	2,459,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,056	△1,395
土地再評価差額金	△118,678	△118,678
その他の包括利益累計額合計	△119,734	△120,073
純資産合計	2,831,423	2,339,795
負債純資産合計	5,657,086	4,793,423

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	532,709	506,386
売上原価	179,071	162,039
売上総利益	353,637	344,346
販売費及び一般管理費	773,275	774,571
営業損失（△）	△419,638	△430,224
営業外収益		
受取利息	1,122	908
受取配当金	320	410
受取賃貸料	8,875	11,594
賞与引当金戻入額	4,405	－
貸倒引当金戻入額	－	4,665
雑収入	2,277	2,735
営業外収益合計	17,001	20,314
営業外費用		
支払利息	4,538	3,782
賃貸収入原価	12,203	13,894
雑損失	1,364	4,479
営業外費用合計	18,107	22,156
経常損失（△）	△420,743	△432,067
特別損失		
会員権評価損	7,750	－
特別損失合計	7,750	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△428,493	△432,067
法人税、住民税及び事業税	238	261
法人税等調整額	△163,299	△157,472
法人税等合計	△163,061	△157,210
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△265,432	△274,856
四半期純損失（△）	△265,432	△274,856

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△265,432	△274,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△338
その他の包括利益合計	30	△338
四半期包括利益	△265,401	△275,195
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△265,401	△275,195
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）及び当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。